



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月7日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3632 URL <http://corp.gree.net/jp/ja/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員最高財務責任者 (氏名) 大矢 俊樹 TEL 03-5770-9500
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年6月期第2四半期 | 30,027 | △9.5 | 2,035 | △38.6 | 2,064 | △31.8 | 720 | △22.9 |
| 2023年6月期第2四半期 | 33,169 | △0.0 | 3,317 | △18.7 | 3,028 | △31.3 | 934 | △74.4 |

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 983百万円(ー%) 2023年6月期第2四半期 △1,216百万円(ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年6月期第2四半期 | 4.22 | 4.17 |
| 2023年6月期第2四半期 | 5.42 | 5.36 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年6月期第2四半期 | 125,828 | 91,888 | 72.6 |
| 2023年6月期 | 124,806 | 92,549 | 73.7 |

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 91,321百万円 2023年6月期 92,043百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年6月期 | ー | 0.00 | ー | 11.00 | 11.00 |
| 2024年6月期 | ー | 0.00 | ー | ー | ー |
| 2024年6月期(予想) | ー | ー | ー | ー | ー |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年6月期の期末配当金につきましては、現在未定です。開示が可能になった時点で、速やかにお知らせ致します。

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年6月期2Q | 179,749,700株 | 2023年6月期 | 179,749,700株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年6月期2Q | 8,839,542株 | 2023年6月期 | 9,094,269株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年6月期2Q | 170,752,387株 | 2023年6月期2Q | 172,594,022株 |

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口及び役員報酬B I P信託口が所有する当社株式（2024年6月期第2四半期：8,420,315株、2023年6月期：8,675,042株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループはゲーム・アニメ事業、メタバース事業、DX事業、コマース事業、投資事業の各セグメントにおいて積極的な投資に取り組んで参りました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高30,027百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益2,035百万円（同38.6%減）、経常利益2,064百万円（同31.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益720百万円（同22.9%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において「インターネット・エンタメ事業」に含めていた事業を独立した「ゲーム・アニメ事業」、「メタバース事業」、「DX事業」、「コマース事業」、「その他」に区分しており、「投資・インキュベーション事業」について「投資事業」へ名称を変更しております。

また、対前年同四半期の増減及び増減率については、前年同四半期の数値を変更後の区分方法に組み替えた数値に基づいて作成しております。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①ゲーム・アニメ事業

既存スマートフォンゲームの長期運営体制による収益安定化及び海外展開による収益力向上に取り組むとともに、新規タイトルの開発を進めて参りましたが、「ヘブンバーンズブレッド」のリリース初期盛り上がりの反動等により軟調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高22,151百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益2,910百万円（同17.5%減）となりました。

②メタバース事業

プラットフォーム事業において、スマートフォン向けメタバース「REALITY」のコンテンツ拡充及び機能拡充を進めるとともに、グローバル展開を進めて参りました。また、VTuber事業への積極的な投資も継続して参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,748百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益1百万円（同98.7%減）となりました。

③DX事業

マーケティングDX事業・オペレーションDX事業ともに支援案件の積み上げを進めて参りましたが、前連結会計年度に終了した大型案件の影響等により軟調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,648百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益400百万円（同24.0%減）となりました。

④コマース事業

コマース事業全体で「メディア×SaaS」戦略を推進、メディア力を活かし、安定収益基盤であるSaaS事業の強化を進めて参りました。また、当連結会計年度に新たに開始したHR事業への積極的な投資も継続して参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高646百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益26百万円（同179.3%増）となりました。

⑤投資事業

インターネット・IT領域を中心に投資するベンチャーキャピタルやスタートアップへの投資に取り組んで参りましたが、当社出資ファンドにおける保有株式の売却による収益が減少したこと等により軟調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高995百万円（前年同期比33.9%減）、営業損失256百万円（前年同期は営業利益50百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は125,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,022百万円増加致しました。流動資産は108,972百万円（前連結会計年度末比1,605百万円増）となり、主な増加要因は「現金及び預金」及び「未収入金」がそれぞれ1,166百万円、564百万円減少した一方、「金銭の信託」が3,500百万円増加したことによるものであります。固定資産は16,856百万円（同582百万円減）となり、主な減少要因は「繰延税金資産」が300百万円増加した一方、「投資有価証券」及び投資その他の資産の「その他」がそれぞれ632百万円、182百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては33,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,683百万円増加致しました。流動負債は15,666百万円（同4,724百万円減）となり、主な減少要因は「未払金」が411百万円増加した一方、「1年内償還予定の社債」及び「契約負債」がそれぞれ5,000百万円、422百万円減少したことによるものであります。固定負債は18,274百万円（同6,408百万円増）となり、主な増加要因は「社債」及び固定負債の「その他」がそれぞれ6,000百万円、408百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、91,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ661百万円減少致しました。主な減少要因は「その他有価証券評価差額金」が280百万円増加し、また、「自己株式」が154百万円減少した一方、「利益剰余金」が1,156百万円減少したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当第2四半期連結会計期間末は72.6%であります。また、支払い能力を示す流動比率は当第2四半期連結会計期間末は695.6%となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ2,333百万円増加し、残高は76,626百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、3,566百万円（前年同期は454百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額759百万円があった一方、税金等調整前四半期純利益2,080百万円、営業投資有価証券の減少1,307百万円、未払金の増加566百万円及び未収入金の減少564百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、142百万円（前年同期は278百万円の獲得）となりました。これは主に、敷金の回収による収入153百万円及び投資有価証券の売却による収入116百万円があった一方、投資有価証券の取得による支出323百万円及び有形固定資産の取得による支出121百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、983百万円（前年同期は3,277百万円の獲得）となりました。これは主に、社債の発行による収入6,000百万円があった一方、社債の償還による支出5,000百万円及び配当金の支払による支出1,972百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、引き続きモバイルを中心にインターネットを通じコンテンツやサービスの拡充を行うとともに国内外のユーザーの利用拡大及び安定収益基盤の拡充に取り組んで参ります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、市況の影響を受ける投資事業の連結業績への影響も一定あることから、連結の業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

セグメント別の今後の見通し等の詳細につきましては、本日発表の「2024年6月期 第2四半期 決算説明会資料」もご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 50,293 | 49,126 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 7,694 | 7,908 |
| 未収入金 | 2,298 | 1,733 |
| 営業投資有価証券 | 19,574 | 19,437 |
| 金銭の信託 | 24,000 | 27,500 |
| その他 | 3,506 | 3,288 |
| 貸倒引当金 | △0 | △21 |
| 流動資産合計 | 107,367 | 108,972 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,365 | 2,292 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 8 | 7 |
| 無形固定資産合計 | 8 | 7 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,242 | 9,609 |
| 繰延税金資産 | 1,907 | 2,207 |
| その他 | 3,239 | 3,057 |
| 貸倒引当金 | △324 | △317 |
| 投資その他の資産合計 | 15,064 | 14,556 |
| 固定資産合計 | 17,439 | 16,856 |
| 資産合計 | 124,806 | 125,828 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 1年内償還予定の社債 | 5,000 | — |
| 未払法人税等 | 1,684 | 1,694 |
| 契約負債 | 5,919 | 5,497 |
| 賞与引当金 | 512 | 646 |
| 未払金 | 6,251 | 6,662 |
| その他 | 1,023 | 1,164 |
| 流動負債合計 | 20,391 | 15,666 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,700 | 16,700 |
| その他 | 1,165 | 1,574 |
| 固定負債合計 | 11,865 | 18,274 |
| 負債合計 | 32,256 | 33,940 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100 | 100 |
| 資本剰余金 | 2,365 | 2,365 |
| 利益剰余金 | 93,690 | 92,534 |
| 自己株式 | △5,836 | △5,682 |
| 株主資本合計 | 90,319 | 89,317 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,657 | 1,938 |
| 為替換算調整勘定 | 66 | 66 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,724 | 2,004 |
| 新株予約権 | 454 | 479 |
| 非支配株主持分 | 51 | 87 |
| 純資産合計 | 92,549 | 91,888 |
| 負債純資産合計 | 124,806 | 125,828 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 33,169 | 30,027 |
| 売上原価 | 14,372 | 13,582 |
| 売上総利益 | 18,797 | 16,444 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,479 | 14,408 |
| 営業利益 | 3,317 | 2,035 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 51 | 51 |
| 受取配当金 | 54 | 15 |
| 暗号資産評価益 | — | 165 |
| その他 | 8 | 18 |
| 営業外収益合計 | 115 | 251 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 59 | 67 |
| 支払手数料 | 50 | 31 |
| 為替差損 | 250 | 118 |
| その他 | 44 | 4 |
| 営業外費用合計 | 404 | 222 |
| 経常利益 | 3,028 | 2,064 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 3 | 28 |
| 関係会社株式売却益 | 3 | — |
| 特別利益合計 | 6 | 28 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2 | 13 |
| 投資有価証券評価損 | 620 | — |
| その他 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 624 | 13 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,410 | 2,080 |
| 法人税等 | 1,471 | 1,377 |
| 四半期純利益 | 939 | 702 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 4 | △17 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 934 | 720 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 939 | 702 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,106 | △771 |
| 為替換算調整勘定 | △24 | △0 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △24 | 1,052 |
| その他の包括利益合計 | △2,155 | 280 |
| 四半期包括利益 | △1,216 | 983 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,220 | 1,000 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 4 | △17 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,410 | 2,080 |
| 減価償却費 | 145 | 195 |
| 受取利息及び受取配当金 | △106 | △67 |
| 支払利息 | 59 | 67 |
| 為替差損益 (△は益) | 414 | 117 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △3 | △28 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 620 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 691 | △214 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △75 | 564 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △10 | 14 |
| 営業投資有価証券の増減額 (△は増加) | △650 | 1,307 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △178 | △445 |
| 長期前払費用の増減額 (△は増加) | △279 | 14 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 911 | 566 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 140 | 138 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △662 | 259 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 272 | △422 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △288 | 134 |
| その他 | △179 | 36 |
| 小計 | 3,231 | 4,320 |
| 利息及び配当金の受取額 | 109 | 67 |
| 利息の支払額 | △25 | △62 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △2,861 | △759 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 454 | 3,566 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △393 | △121 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △500 | △323 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 3 | 116 |
| 関係会社株式の売却による収入 | 47 | 39 |
| 敷金の差入による支出 | — | △3 |
| 敷金の回収による収入 | 1,180 | 153 |
| その他 | △59 | △3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 278 | △142 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 社債の発行による収入 | 7,700 | 6,000 |
| 社債の償還による支出 | — | △5,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △2,414 | — |
| 配当金の支払額 | △1,969 | △1,972 |
| その他 | △38 | △11 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,277 | △983 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △374 | △106 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,635 | 2,333 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 66,624 | 74,293 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 70,260 | 76,626 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。